

市民コメントの結果

■案件名 「地域公共交通（さかっちバス・さかっちワゴン）運行計画見直し（案）」に対する市民コメントの募集

■募集期間 平成 30 年 4 月 2 日 月曜日～平成 30 年 5 月 1 日 火曜日

■意見提出 37 件 / 27 名

■担当課 市民生活課

No	分類	意見・提案	意見に対する対応
1	ルート、本数	東坂戸団地からは東武バスが頻繁に走行しているので、さかっちが無くて交通手段があると思われま。そこで東坂戸団地はカットして、小沼辺りから市役所までの運行にすれば、1.5 時間くらいで 2 往復は走行でき、もし、時間がある場合は市役所～若葉駅の往復便が出来ると思います。	ご提案のとおり「みよしの線」の「東坂戸団地」をカットした場合、東武バスにより「若葉駅」への交通手段は引き続き確保されますが、「ことぶき荘」や「市役所」など市内の交通手段がなくなります。人口が集中する東坂戸団地から市中心部への交通手段は、まちの活性化、収益面、高齢者の移動手段の確保の観点から確保していきたいと考えています。なお、今回の「新みよしの線」は、利用の少ない区間を見直し、8 便から 10 便の増便を予定しおり、この見直し計画のままとさせていただきます。
2	ルート、本数	中小坂前窪レクから市役所まで利用したいが、片道約 1 時間かかること、本数の少なさに不便を感じます。可能なら改善を希望します。	市民バスは、路線バスとの競合を避けつつ、より多くの市民の皆さまが利用できるように各地区を原則 1 台で隈なく回るルートを設定しています。このため、場所によっては、遠回りなルートとなったり、片道約 1 時間かかる場合がありますので、ご理解のほどお願いします。今回の見直しにより「新みよしの線」は、運行時間を 62 分から 58 分に、本数を 8 便から 10 便に改善する予定であるため、この見直し計画のままとさせていただきます。
3	ルート、本数	すぐろ線は、坂戸市総合体育館へ行く際、坂戸駅を通ることで坂戸市民のみならず市外の方も坂戸駅を降り、この路線を多くの方が利用出来ると思います。2 本、本数も増え良いと思います。	ご意見と同様に、「新すぐろ線」は、「坂戸駅」を経由するルートに見直し、本数を 10 便から 12 便に増便を予定しています。このため、この見直し計画のままとさせていただきます。
4	ルート、本数	関越病院までのルートが決まったので安心しました。案通りでお願いします。	「新しがいち線」のルート見直しについて、ご賛同ありがとうございます。この見直し計画のままとさせていただきます。
5	ルート、本数	坂戸駅からは充実していると思うが、北坂戸駅前の団地をひかえた北坂戸の状況は今後、改善の余地があると思う。北坂戸駅から各公共施設（入西方面、運動公園等）への運行を乗り継ぎなく、将来、行われることを望みます。	市民バスは、各地区の移動ニーズや需要に基づき、より多くの方が利用するルートを選定し、運行する計画となっています。限られた台数により運行していますので、北坂戸駅から各公共施設に乗り継ぎなく運行する計画への変更は困難であるため、この見直し計画のままとさせていただきます。
6	ルート、本数	見直していただき感謝です。 1 時間内の本数を少しでも多くして頂いたら助かります。	見直し計画に、ご賛同いただきありがとうございます。この見直し計画のままとさせていただきます。なお、今後も利用状況や市民の皆さまのご意見などを踏まえ、市民の皆さまにとって、よりよりサービスとなるよう努めていきます。
7	ルート、本数	よく入西地域交流センターを利用しています。今回の見直し案に大賛成です。	見直し計画に、ご賛同いただきありがとうございます。この見直し計画のままとさせていただきます。なお、今後も利用状況や市民の皆さまのご意見などを踏まえ、市民の皆さまにとって、よりよりサービスとなるよう努めていきます。
8	ルート、本数	新しがいち線は、病院、買物など一番利用するので、減便しないでください。	「新しがいち線」は、関越病院への延伸に伴い運行距離が長くなることから 20 便から 15 便に減便せざるを得ません。しかし、他の路線に比べると本数も多く、約 30 分間隔と高いサービス水準を維持していますのでご理解のほどお願いします。また、市中心部を循環する「新さかど線」を新たに運行しますので、こちらのルートが利用可能であれば、ご利用をお願いします。このことから、この見直し計画のままとさせていただきます。

No	分類	意見・提案	意見に対する対応
9	ルート、本数	一本松駅前広場に乗り入れて欲しい。	今回の見直し計画において、「新しろやま線」はワゴン車両により「一本松駅南口」の駅前広場に乗り入れる予定です。「新おおや線」の「一本松駅南口」への乗り入れは、一本松駅への道路の幅員が狭く、バス車両での通行が困難であるため、この見直し計画のままとさせていただきます。
10	ルート、本数	図書館に行って本に親しむのが一番の楽しみでした。1時間近くかけて市役所まで行き、乗り換えて図書館までとは高齢者には無理です。坂戸市の中心部に行く路線を考えて下さい。坂戸団地から若葉駅の行き来を30分以内にして下さい。前々回の時刻表を検討して下さい。東武バスが入っているから東坂戸の巡回バスの不便さを黙認したそうですが、東武バスは日・祭日の日中は1時間に1本しかありません。	「みよしの線」は、三芳野地区に割り当てた1台により、多くの方が利用できるように三芳野地区を隈なく回るルート設定を行っています。このため、東坂戸団地から市役所や若葉駅まで約1時間は掛かりますが、ご理解のほどお願いします。 また、公的資金によって運行する市民バスは、自立運営を原則とする路線バス（東武バスなど）との競合を避ける必要があります。これは、市民バスの運行によって、路線バスの収入が下がった場合、路線バスは減便や廃止などの対応を取らざるを得なくなり、結果的に当該地域の路線バスが不便となることを避けるためです。この考えに基づき、「みよしの線」においては、東武バスと競合する東坂戸団地から若葉駅に行くルート避けており、30分以内の運行は困難であるため、この見直し計画のままとさせていただきます。
11	ルート、本数	市が起点でなく市内の文化施設か商業施設・駅・病院を基点に考えたらどうでしょうか。	ルートの起点は、折り返しの転回ができる道路又は用地があること、車両(6台)を待機・休憩できる駐車スペースを有することなどが条件となります。これらの条件を満たす場所として市役所が最も適していると考えていますので、この見直し計画のままとさせていただきます。
12	ルート、本数	西坂戸団地から、坂戸駅まで、50分かかるのは長いです。もう少し、短い時間で着くようにしてほしい。(新おおや線)	西坂戸団地から坂戸駅まで距離が長く、人口が密集している鶴舞団地を経由し、より多くの方が利用できるようにルートを設定しているため、約50分はかかってしまうことから、この見直し計画のままとさせていただきます。
13	ルート、本数	入西地域交流センターができてから、市の行事等多く開催されるが、ルートがなく行けない。	今回の見直し計画において、「入西地域交流センター」を経由するように「新につき線」「新しろやま線」を設定しています。
14	ルート、本数	鶴ヶ島市との広域での交通路線を考えるべき。	坂戸市のまちづくり計画では、医療・福祉・商業などの都市機能施設が坂戸駅周辺、北坂戸駅周辺、若葉駅周辺などの都市機能誘導区域に集約するように誘導していきます。同時に居住地域からこれら都市機能誘導区域へのアクセス（公共交通）を強化することで、高齢者をはじめとする市民が生活しやすい、まちづくりを目指しています。また、アンケート調査においては、市内の移動が大半を占め、鶴ヶ島市への移動ニーズは約1割と多くはありません。このため、市民バスは、市内の運行を基本とし、この見直し計画のままとさせていただきます。
15	ルート、本数	特養、小沼サークルホームに家族が入居しており毎日面会に通っている（自分の車で）が、バスの便が悪く、近い将来私の免許返納に伴う交通の便が悩みの種でした。 希望としては、北坂戸駅から小沼まで269号線を直行し、4～50分後に帰りの便があることです。是非設定をお願いします。	個々の要望については、様々なものがあり、そのすべてに対応することはできませんが、可能な限り利用しやすい環境の整備に努めていきますので、この見直し計画のままとさせていただきます。

No	分類	意見・提案	意見に対する対応
16	ルート、本数	<p>中心市街地に居住しているといえます。買い物袋を持っていつまで歩けるのか不安ですから、通院と買い物に利用できるバスがあれば良いのと思っています。私がせひ利用したいと思うバスは以下のようなものです。</p> <p>①ルート：商業施設（ヤオコー、マミーマート、ベルク、まるひろ、若葉ウォーク等）と病院のみを結ぶ循環型</p> <p>②停留所：前後のバス停が見えるくらいの間隔</p>	<p>ご意見の考え方と同様に、中心市街地に集積する医療施設、商業施設等へのご利用を想定し、中心市街地を運行する「新しがいち線」「新さかど線」を設けていますので、こちらのルートをご利用ください。</p> <p>停留所の設置基準では、交差点やカーブなど安全面から設置が禁止されている場所があり、どこでも停留所を設置できる訳ではありません。また、ご意見のように停留所を密にたくさん設置した場合、停車回数が多くなり、後続車に迷惑が掛かるほか「運行時間が長くなる」「事故発生の危険性が増す」「渋滞要因となる」などの問題が考えられます。このようなことから、前後のバス停が見える一律の間隔に設置するのではなく、道路環境（線形、車線数、交通量）、停留所の需要や全体のバランスなどから、必要に応じ新設や移設を行っていきたく考えています。このため、この見直し計画のままとさせていただきます。</p>
17	停留所	塚越のバス停の移動をよろしく願います。（新みよしの線）	<p>個々の要望については、様々なものがあり、そのすべてに対応することはできません。</p> <p>また、どのバス停をどのように移動する必要があるのかが記載されていないため、お答致しかねます。</p>
18	停留所	坂戸キリスト教会前に停留所を作って欲しい。（新みよしの線）	<p>個々の要望については、様々なものがあり、そのすべてに対応することはできませんが、坂戸キリスト教会から最寄りの「住吉神社」の停留所は、現在、住吉神社から1本東側の道路にあってわかりづらいこともあり、今回、住吉神社前の道路（塚越北区集会所付近）に移設を予定しています。これにより、これまでよりは坂戸キリスト教会に近くなりますので、新たな「住吉神社」でのご利用をお願いします。</p>
19	停留所	坂戸キリスト教会前に停留所を作って欲しい。（新みよしの線）	<p>個々の要望については、様々なものがあり、そのすべてに対応することはできませんが、坂戸キリスト教会から最寄りの「住吉神社」の停留所は、現在、住吉神社から1本東側の道路にあってわかりづらいこともあり、今回、住吉神社前の道路（塚越北区集会所付近）に移設を予定しています。これにより、これまでよりは坂戸キリスト教会に近くなりますので、新たな「住吉神社」でのご利用をお願いします。</p>
20	停留所	坂戸キリスト教会前に停留所を作って欲しい。（新みよしの線）	<p>個々の要望については、様々なものがあり、そのすべてに対応することはできませんが、坂戸キリスト教会から最寄りの「住吉神社」の停留所は、現在、住吉神社から1本東側の道路にあってわかりづらいこともあり、今回、住吉神社前の道路（塚越北区集会所付近）に移設を予定しています。これにより、これまでよりは坂戸キリスト教会に近くなりますので、新たな「住吉神社」でのご利用をお願いします。</p>
21	停留所	坂戸キリスト教会前に停留所を作って欲しい。（新みよしの線）	<p>個々の要望については、様々なものがあり、そのすべてに対応することはできませんが、坂戸キリスト教会から最寄りの「住吉神社」の停留所は、現在、住吉神社から1本東側の道路にあってわかりづらいこともあり、今回、住吉神社前の道路（塚越北区集会所付近）に移設を予定しています。これにより、これまでよりは坂戸キリスト教会に近くなりますので、新たな「住吉神社」でのご利用をお願いします。</p>
22	停留所	石井停留所の先に停留所がほしい。（新しがいち線）	<p>個々の要望については、様々なものがあり、そのすべてに対応することはできませんが、可能な限り利用しやすい環境の整備に努めていきますので、この見直し計画のままとさせていただきます。</p>
23	停留所	石井停留所の先に停留所がほしい。（新しがいち線）	<p>個々の要望については、様々なものがあり、そのすべてに対応することはできませんが、可能な限り利用しやすい環境の整備に努めていきますので、この見直し計画のままとさせていただきます。</p>
24	停留所	バス停を増やしてもらいたい。1時間、朝の時間に病院、駅に歩くので負担が大きい。	<p>個々の要望については、様々なものがあり、そのすべてに対応することはできませんが、可能な限り利用しやすい環境の整備に努めていきますので、この見直し計画のままとさせていただきます。</p>

No	分類	意見・提案	意見に対する対応
25	停留所	「みよしの線」富士見工業団地の停留所がわかりにくいので、停留所の変更、追加を提案します。石井地区の開発に伴い、ラカータ前の道路沿いにバス停設置を強く願います。	個々の要望については、様々なものがあり、そのすべてに対応することはできませんが、可能な限り利用しやすい環境の整備に努めていきますので、この見直し計画のままとさせていただきます。
26	停留所	鶴舞東と鶴舞中央の間に停留所を1か所増やしてほしい。 (新おおや線)	個々の要望については、様々なものがあり、そのすべてに対応することはできませんが、可能な限り利用しやすい環境の整備に努めていきますので、この見直し計画のままとさせていただきます。
27	停留所	「西大家駅」(元セブンイレブン裏)から四日市場秋葉神社に向かう道路の途中に停留所を新設し、共同墓地西側を通り、「四日市場」(松本病院前)に向かうコースに変更してほしい。 (新おおや線)	当該道路は、道路幅員が狭くバス車両では通行できないため、ルート設定が困難であるため、この見直し計画のままとさせていただきます。
28	運行時刻(ダイヤ)	帰路でなんとか間に合えば最終便(坂戸駅 17:54 発)を使用していますが、案による時間帯では、通勤の交通機関としての使用できません。新にっさい線の最終便(第8便)の時間帯を約1時間後とし、17:45~18:00に坂戸駅北口を通過し、入西地区に向かう便としてほしい。	ご意見のとおり、「新にっさい線」の入西地区方面への最終便の時刻が16時台と他の路線より早いため、現行の「坂戸駅北口」の発車時間を17:54頃とするように計画を見直します。
29	運行時刻(ダイヤ)	おおや線は、もう1便8時30分ごろの便を増発してほしい。	個々の要望については、様々なものがあり、そのすべてに対応することはできませんが、可能な限り利用しやすい環境の整備に努めていきますので、この見直し計画のままとさせていただきます。
30	運行時刻(ダイヤ)	西坂戸団地から出る、朝8時台のバスが1つありません。病院などに行く時、8時台があると、ありがたいのですが。川角駅入口から、西坂戸団地へ向かう午後4時台のバスがありません。 便数が増えるとありがたい。	個々の要望については、様々なものがあり、そのすべてに対応することはできませんが、可能な限り利用しやすい環境の整備に努めていきますので、この見直し計画のままとさせていただきます。なお、「新しろやま線」を新たに運行しますので、ご利用可能であれば、こちらのご利用をお願いします。
31	運行時刻(ダイヤ)	溝端公園で乗車していますが、病院に行くため、午前9:00台を作って頂きたいをお願いします。(新さかど線)	個々の要望については、様々なものがあり、そのすべてに対応することはできませんが、可能な限り利用しやすい環境の整備に努めていきますので、この見直し計画のままとさせていただきます。
32	その他(乗り継ぎ)	乗継券があるので便利に使いたいが、接続時刻が悪いのでほとんど乗り継げない。時間の変更をお願いしたい。	乗り継ぎ時刻を合わせるように時間を見直した場合、1ルートを1台で運行していることから、接続の待ち時間により、ルートによっては、減便をせざるを得なくなります。今回の見直しでは、改善ニーズに基づき、ルートや休憩時間等の見直しにより、増便の改善を図っています。よって、乗り継ぎ時刻を考慮した時間の変更を行った場合は、増便を実現できないため、見直し計画のままとさせていただきます。
33	その他(デマンド交通)	近隣の町で導入している高齢者を対象とするデマンドタクシーの制度(1回300円)を入れてはどうか。	坂戸市では、公共交通の不便な地域の移動ニーズが市域の中心に位置する坂戸地区に集中している特性があるため、あらかじめ路線を定め、定時定路で運行する方式が効率的で適していると考え、市民バスを運行しています。今回、見直し計画では、市民バスの車両を2台増車し、利便性の向上を図っていく計画となっており、デマンドタクシー制度を導入する予定はありません。このため、この見直し計画のままとさせていただきます。

No	分類	意見・提案	意見に対する対応
34	その他（デマンド交通）	オンデマンド交通の方法もとり入れ、高齢者のニーズを最優先にした思い切った利便性を考えてほしい。	坂戸市では、公共交通の不便な地域の移動ニーズが市域の中心に位置する坂戸地区に集中している特性があるため、あらかじめ路線を定め、定時定路で運行する方式が効率的で適していると考え、市民バスを運行しています。今回、見直し計画では、市民バスの車両を2台増車し、利便性の向上を図っていく計画となっており、デマンドタクシー制度を導入する予定はありません。このため、この見直し計画のままさせていただきます。
35	その他（フリー乗車）	70才以上を限定に、路線上で目印になる物を確認した場合は、フリー乗車もできるようにしてはどうか。	平成25年度に、フリー降車を導入した際に、フリー乗車は安全性の確保の観点などから導入に至りませんでした。今回もフリー乗車は、路上にいる方が乗客であるか運転手が容易に判断できず、乗客と気付くことが遅れて急ブレーキをかけて事故を起こしたり、乗客確認のため徐行し定時性に支障が出たり、乗客を見過ごすなど、さまざまなトラブルが想定されることから、導入は難しいと考えております。利用者が目印になる物を持っていたとしても、同様のトラブルが発生すると考えています。
36	その他（交通系ICカード）	全バスについて、パスモ、スイカの導入をした方が良い。	「さかっちバス」を運行している東武バスにおいて、交通系ICカード（パスモ、スイカ）の使用権利を保有していることから、必要な機器を取り付け交通系ICカードの使用が可能です。一方、「さかっちワゴン」を運行しているタクシー事業者においては、交通系ICカード（パスモ、スイカ）の使用権利を保有しておりません。交通系ICカードの導入コストが高額であることから、導入の見通しが立っていません。このため、現行のとおり、「さかっちワゴン」の交通系ICカード（パスモ、スイカ）の利用はできないものとさせていただきます。
37	その他（夏期シーズンの増便）	夏期シーズンは市民プールが始まり、すぐろ線は、現行案より運行本数を増やすべきだと思います。マイカーで来る人をバス利用を増やす事で体育館の駐車場が緩和され、プール以外の利用者にとって有難い。毎年、夏期シーズンの体育館利用者にとって体育館側駐車場をプール利用者が置くので不便さを感じています。	市民バスは、日常生活における買い物や通院などへの移動手段として運行しており、季節的なイベントや特定施設利用のための運行は考えていません。1ルートを1台で運行しているため、見直し計画以上の増便には増車が必要となるため、見直し計画のままさせていただきます。